

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	特別養護老人ホーム整備支援事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	菊池 義博				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特別養護老人ホーム入所希望待機者	意図	特別養護老人ホーム入所希望待機者の解消。
事業内容	新規特別養護老人ホーム運営事業者の公募及び選定、県との協議等。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和58年5月 初石苑開設(50床) 昭和62年4月 リバーパレス流山開設(100床) 平成11年4月 あざみ苑開設(108床) 平成17年11月 はまなす苑開設(60床) 平成23年4月 流山こまぎ安心館開設(100床) 平成25年2月 月の船開設(100床) 平成27年5月 美晴らしの里開設(100床) 平成28年5月 でいご開設(100床) 平成30年4月 (仮称)あかぎ万葉開設予定(100床)			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	特別養護老人ホーム入所希望待機者数	589	313	292		↓↓↓	(各年度 1月1日現在数値)
②	市内特養箇所数	6	7	8		↑↑↑	(広域型のみ)	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成27年度からの介護保険制度の改正により、特別養護老人ホーム入所は要介護1以上から要介護3以上に変更となった。 これに伴い、これまで待機者数に数えていた要介護1・2については平成27年度から待機者数に数えなくなったため、大幅に減少した。 平成23年4月 流山こまぎ安心館開設 平成25年2月 月の船開設 平成27年5月 美晴らしの里開設 平成28年5月 でいご開設 平成30年4月 (仮称)あかぎ万葉開設予定	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		69,100	75,300	68,650				
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	第7期介護保険事業計画策定に向け、特別養護老人ホーム整備の位置付けの必要性について検討する。	③取組の課題	第7期介護保険事業計画策定に向け、特別養護老人ホーム整備の位置付けの必要性について、ユニット型と多床室の併設施設を含めて検討する必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	第7期介護保険事業計画策定に向け、特別養護老人ホーム整備の位置付けの必要性について検討した。	④今後の改善計画	第7期介護保険事業計画策定に向け、特別養護老人ホーム整備の位置付けの必要性について、ユニット型と多床室の併設施設を含めて検討し、必要に応じて公募を行う。